

Matsunami

2026年 年頭に当たり 謹賀新年

まつなみ

2026

1

発行
社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院



社会医療法人蘇西厚生会
まつなみ健康増進クリニック
クリニック長
花立 史香

新年あけましておめでと
うございます。

昨年は、在宅診療の本格運
用や運動療法にも対応したジ
ムの開設など、当院の取り組み
に温かいご支援を賜り、誠に
ありがとうございました。本年は
これらの体制をさらに発展さ
せ、地域の皆さまにとってよ
り頼れる医療を目指してまい
ります。

在宅診療では、訪問体制を
充実させることで、ご自宅での
療養をより安心して続けてい
ただけるよう努めます。長年提
供してきた人間ドックは新築棟へ
移転し、検査環境・設備・サ
ービスを大幅に改善いたしま
した。より快適で質の高い受診体
験を提供してまいります。また、
当院のジムでは、体力づくりか
らリハビリテーションまで幅広
く対応し、日常生活の動作改善
を支援します。さらに、ジム横
には軽食も楽しめるコーヒー
ショップを併設し、患者さん
にもご利用いただける憩いの場
を設けました。

本年も地域に根ざした医療
を大切に、皆さまの健康を支
えるクリニックとして努めてま
いります。どうぞよろしくお願
い申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
看護部長
伊藤 妙登美

謹んで新春のお慶びを申
上げます。

平素より当院の医療・看護
にご理解とご協力を賜り心
より感謝申し上げます。

2026年度を迎え患者さ
んやご家族の声に耳を傾け、
質の高い看護を目指してま
いります。医療の進歩や社会
の変化に伴い、求められるケア
も日々変化していますが、私
たち看護部は常に学び続け、
確かな知識と技術と思いやり
の心をもって対応いたします。
2025年は4月から救命
救急センターの指定を受け、
6月中旬には西館がオープン
し、人間ドックが新しくなり
ました。また、運動できる施
設や多目的ホール、会議室も
新設しました。

地域の皆さまが生活習慣
病の予防や疾病の早期発見
につながり健康的な日々を
過ごせるお手伝いができ
ると信じています。

今年一年が皆さまにとって
素晴らしい年となりますよう
に祈念いたします。本年も
どうぞよろしく願います。

まつなみ Information

当院をご利用される皆さまへ、 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、
何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
各お知らせの詳細は、右のQRコードより
ご確認ください。

発熱症状で
受診される方へ



面会について



ご来院される前に、上記QRコードから詳細をご確認ください。

鶴見医師が「学術功労賞」を受賞しました

当院の鶴見寿医師が、長年にわたるHIV/AIDS対策への
貢献が評価され、岐阜県医師会より「学術功労賞」を受賞いた
しました。最新の知見と治療法の普及に尽力した功績が認めら
れたものです。今後も地域医療の発展に努めてまいります。

「血液・腫瘍内科」
診療科紹介ページ



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長
松波 英寿

新年あけましておめでと
うございます。
心からお慶び申し上げます。地域の皆さ
ま、そして日頃より地域医療を支えてお
られる開業医の先生方に、謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く状況は、年を
追うごとに厳しさを増しています。国際
社会では民主主義の価値観が揺らぎ、
日本国内においても経済力の低下と人口
減少が進み、国全体が右肩下りの時代
に入ったことを実感せざるを得ません。
その影響は、医療・介護の分野にも確実
に及んでいます。

診療報酬・介護報酬は、わずかな改定
はあるものの、物価や人件費の上昇には
到底追いついていません。現在の医療・介護
は、現場で働く人々の使命感と献身、
いわばボランティア精神によって支えら
れていると言っても過言ではないでしょう。
今後、公的病院への補助金も縮小が進み、
すべての医療機関が生き残りをかけた
時代に入ります。

そのような中で、私たち私立の医療機
関が進むべき道は明確です。知恵と工夫、
そして不断の努力によって、持続可能な
医療を実現することです。家庭が家計を
見直すように、医療機関もまた収入を
確保し、無駄を省き、健全な運営を行わ
なければなりません。その積み重ねが、結果
として地域医療を守る力になります。

松波総合病院は、急性期医療を担う
地域の基幹病院として、地域がん診療連
携拠点病院および救命救急センターの
指定を受けましたが、医療は「治す」だけ

では完結しません。病気になる前、そし
て治療後の生活までを支えることが重
要です。その環として、当院では国内
初の試みとして、院内に運動施設
「フィットイージー」松波総合病院店十
メデイカルまつなみ（医療法42条施設）
を整備し、予防医療や健康づくりにも力
を入れています。さらに、疾病の早期発
見をより確実に行うために、県下最大
級の人間ドックを整備しました。

また、全国でも先進的な取り組みと
して、敷地内にペットおあずかりセン
ターを新設して、自分のペットに会いな
がら急性期医療が受けられるようにし、
回復期・慢性期医療は連携推進法人を
組んでいる海津市医師会病院内に、ペッ
トと同室で入院治療を受けられる病棟
も完備しました。ペットは家族の一員
であり、その存在が患者さんの心を支
えることは明らかです。医療は身体だ
けでなく、心にも寄り添うものでなけ
ればなりません。

さらに、将来を見据え、看護大学の開校
に向けた準備も本格的に進めています。
地域で育った若者が地域で学び、地域
医療を支える人材として羽ばたく。その
循環をつくるこそが、持続可能な
医療の基盤になると考えています。

新しい挑戦には必ず慎重論や反対意見
が伴います。しかし、住民や患者さんに
本当に求められている医療であれば、
既成概念にとらわれずに進むべきです。
現在の医療を取り巻く危機は、すべての
医療機関に共通するものです。だから
こそこのピンチを知恵と工夫でチャン
スに変えていかなければなりません。

本年も、開業医の先生方、地域の皆
さまと力を合わせ、安心して暮らし続け
られる地域医療の実現に全力で取り組ん
でまいります。

皆さまのご健康とご多幸を心より祈
念し、新年のご挨拶いたします。

理念

私たちは、地域中核の社会医療法人として
地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・
福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基本方針

- ・私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。
- ・私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。
- ・私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL:058-388-0111(代)

FAX:058-388-4711

https://www.matsunami-hsp.or.jp



LINE
公式アカウント始めました！



友だち登録をお願いします！

追加方法①

ID検索

「友だち追加」から
「@120mg」で検索
してください。

追加方法②

QRコード

「友だち追加」から上記
のQRコードを読み込
んでください。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長
松波 和寿

新年明けましておめでとうございます。
2026年も、皆さまにおかれましては健やかで実りある一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

当院は昨年、県より「救命救急センター」の指定を受け、地域の急性期医療を担う体制が大きく前進しました。すでに当院は地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たしていますが、この二つの機能を兼ね備える民間病院は、全国でもわずか12施設しかありません。地域に根ざし、地域を守る地域医療支援病院として、この重責を果たす覚悟を新たにしております。

また昨年6月に完成した新館（西館）では、最新鋭の放射線治療装置を用いた高度ながん治療が開始され、多くの患者さんに安心と選択肢を提供できるようになりました。人間ドックも拡張し、予防医療の機能がさらに充実したことで、疾病の早期発見・早期治療に向けた取り組みが一層推進されています。さらに、医師の運動処方せんに基づき、生活習慣病の改善をサポートするフィットイージー松波総合病院店がオープンし、医療と運動を一体化した新しい健康支援モデルがスタートしました。治す医療から、支える・予防する医療へ。地域の皆さまの健康寿命延伸に貢献できる体制が整ってきたと感じております。

当院は「地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。」というビジョンを胸に、職員一人ひとりが誇りを持ち、選ばれた医療機関であり続けるための努力を惜しまず、組織としても常に進化し続けてまいります。

本年も地域の皆さまの安心と生命を守るという使命を果たすべく、全職員が一丸となって歩みを進めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長代理
鶴見 寿

新年明けましておめでとうございます。
まずは、地域住民の皆さま、医療関係の皆さま、職員およびそのご家族の皆さまにとって、より良き年になることを心からお祈り申し上げます。

本邦では現在もインフルエンザ感染症や新型コロナウイルス感染症が依然として猛威をふるっており、高年齢の方や乳児基礎疾患のある方では重症化のリスクがあり、まだまだ気が抜けない状態です。

さて、地域住民の皆さまにとって、老若男女の全ての人が安心して暮らすには、地域で支え合うことができる充実した医療体制の整備が望まれます。当院は、患者さんに寄り添った質の高い安心・安全な診療を提供できるように、救急医療、心臓病や脳血管疾患などの生活習慣病に対する診療、がんや感染症の診療など、多くの分野でエキスパート医師が揃っており、看護士、薬剤師、検査技師、リハビリ、臨床工学技士、栄養士、ケースワーカー、事務職員などと共に多職種でのチーム医療を遂行するべく体制が整備されておりますが、新年を迎え、襟を正し、今後さらに診療レベルの向上と地域連携を含めた医療体制のより一層の充実化に邁進努力したいと思っております。

今年も激動の1年になると思われますが、何卒よろしく願い申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
特別顧問
森脇 久隆

明けましておめでとうございます。
皆さまに本年のご多幸をお祈り申し上げます。

さて私どもを取り巻く社会・経済環境は厳しさを増し、健康・医療状況も例外ではありません。いわゆる健康「は身体的、精神的、経済的などのウェルビーイング（健全性）」がそろうて万全であることと定義されますが（WHO）、蘇西厚生会がご病気の患者さん、地域住民の皆さま方、全ての健康を維持・増進することを志し、日々邁進



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 特別顧問 兼
介護老人保健施設 施設長
富田 栄一

新年、明けましておめでとうございます。
皆さまには本年が健やかに暮らせる一年になれますよう、心よりお祈り申し上げます。また、本年より介護老人保健施設長も拝命いたしましたので、よろしくお願い申し上げます。

2025年は、日本を含めた世界中各地で大変激しい変化が見られました。医療・介護領域では、物価高、人件費高騰、人手不足などの影響で、多くの施設が赤字経営に陥ったり、安定

してまいります。そのような使命を一層強化していくうえで、昨年は大きな一歩を進めました。西館の新築・開業です。特徴は3つ、①最新放射線治療装置の導入、②人間ドックのリニューアル・大規模化、③フィットネススクラブの開業です。①はがん治療の最前線に位置し、地域がん診療連携拠点病院としての機能を更に強化します。②は地域の方々に健康管理と疾病予防、さらに必要であれば早期治療への道筋を提供する場で、格段にサービスアップしました。③は地域では他に例のない医療機関に併設のトレーニング・センターです。現在ではご病気の方もそうでない方も、骨格筋を鍛えておくことが良好な生活の質や疾病予防、もしご病気であれば治療反応性を高める上で不可欠であることが明らかになってきました。本センターは地域全体にサービスを提供し、健康水準を上げることが目的です。どうぞ利用ください。

しない日々が続いております。そんな中でも当院では西館が完成し、最新の放射線治療装置が導入されてがん患者さんの診療に貢献し、加えて人間ドックが新しくなり、フィットイージーが併設されて、医師や専門の理学療法士による指導の下に安心して運動療法を受けられるようになりました。

また、4月には救急診療体制が整い、救命救急センターの指定を受けましたので、今まで以上に皆さまの健康を守る役目を果たすことができるのではないかと思います。一方、新しい知事が、人生100年に向けての施策を打ち出しておられますが、当施設でもその方向で、在宅復帰支援やより質の高いサービスなど、少しでも利用者さんのお役に立てるようにと考えております。当法人設置の在宅関連の各部門とも密に連携をとりながら、法人・病院職員一同努力してまいり所存ですので、本年もどうかよろしくお願い申し上げます。



消化器内科第二部長
浅野 剛之



副院長
荒木 寛司



泌尿器科部長
石田 健一郎



低侵襲心臓外科部長
石田 成吏洋



産婦人科第二部長
市古 哲



放射線診断科部長
伊原 昇



小児科部長
笠原 由貴子



副院長
春日井 敏夫



大動脈外科部長
河合 憲一



周産期医療対策室長
川鱒 市郎



形成外科部長
北澤 健



外科部長
木村 真樹



呼吸器内科部長
坂 英雄



脳神経外科部長
澤田 元史



消化器病センター長
杉原 潤一



内科部長
杉本 浩志



副院長
諏訪 哲也



消化器内科部長
全 秀嶺



回復期リハビリテーション病棟部長
野々村 諭香



消化器内視鏡科部長
早崎 直行



小児科部長
林 照恵



副院長
林 慎



放射線治療科部長
林 昌秀



血液・腫瘍内科部長
原 武志



副院長
村山 正憲



乳腺外科部長
森 美樹



副院長
森田 則彦



胃腸内科部長
矢島 隆宏



救急総合診療科部長
八十川 雄図



救命救急センター 長
山口 均



内分秘臨床研究センター長
今井 篤志



介護老人保健施設 診療部長
岩井 知彦



総合内科部長
岩田 暁



心臓疾患センター長
上野 勝己



麻酔科部長
江崎 善保



中央検査センター長
岡垣 篤彦



副院長
草深 裕光



心臓血管外科センター長
熊田 佳孝



不整脈科部長
香曾我部 泰



眼科部長
石澤 聡子



メンタルケア科(精神科)部長
小島 久典



循環器内科部長
小島 好修



総合内科部長
傍島 卓也



産婦人科第一部長
高木 博



副院長
田上 真



外科第二部長
栃井 航也



消化器内視鏡科部長
中西 孝之



耳鼻咽喉科部長
永井 裕之



整形外科部長
日置 暁



医療管理監視役
日置 敦巳



整形外科部長
福田 雅



副院長
松波 紀行



消化器内科肝臓内科部長
向井 強



副院長
村井 敏博



産婦人科内視鏡治療センター長
山本 和重



本年もよろしく願いいたします



(50音順)